

■第19回日本緩和医療薬学会年会 一般演題リスト【ポスター発表】 ポスター会場:和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

日付	セッション名・示説時間	演題番号	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名	優秀賞エントリー
5月30日 (土)	ポスター発表1 緩和医療の基礎研究	30P1-001	山田 菜葉	和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室	2型糖尿病モデルマウスにおける末梢神経炎症の性差解析	●
		30P1-002	高田 菜緒	和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室	神経障害性疼痛の病態を担う後根神経節マクロファージの性差解析	●
		30P1-003	久保田 桃	和歌山県立医科大学薬学部 生体機能解析学研究室	痛み感受性の性差におけるCGRP陽性神経の関与	●
		30P1-004	慶 元箕	明治薬科大学 医療分子解析学研究室/東京女子医科大学附属足立医療センター 薬剤部	FAERSを用いた抗悪性腫瘍薬関連末梢神経障害における併用時報告シグナルの探索的解析	●
		30P1-005	仙波 未唯	和歌山県立医科大学 薬学部 医療開発薬学研究室	マウス脳波・筋電図解析を中心とした神経障害性疼痛下における不安および睡眠障害の病態解明に向けた研究	●
		30P1-006	井上 嘉之	和歌山県立医科大学 薬学部 病院薬学研究室	術後せん妄モデルマウスにおける脳内炎症関連分子の発現変化	●
		30P1-007	本山 和	星薬科大学 薬理学研究室	膀胱がん悪液質におけるストレス神経-グリア関連異常を伴った視床下部-下垂体-副腎 (HPA) 軸機構破綻と遠心性免疫制御異常	●
		30P1-008	谷口 富美	和歌山県立医科大学 大学院 医学薬学総合研究科 病院薬学研究室	Lewis肺癌細胞移植によるがん悪液質モデルマウスの解析	●
		30P1-009	板垣 美咲	星薬科大学 薬理学研究室	末梢性 μ オピオイド受容体が制御する免疫チェックポイント阻害薬の抗腫瘍効果	●
		30P1-010	山根 洋香	和歌山県立医科大学 薬学部 医療薬剤学研究室	パクリタキセル誘発性末梢神経障害ラットモデルにおける加味逍遙散の抑制作用	●
		30P1-011	青山 陸彦	日本大学 薬学部 臨床薬物動態学研究室	鎮痛効果を指標としたジクロフェナク薬物動態/薬力学モデル構築と有効血中濃度の探索	●
		30P1-012	抱 将史	和歌山県立医科大学 薬学部	実臨床ビッグデータ解析と動物実験の組み合わせによるがん関連認知機能障害 (ケムブレイン) の解析	●
		30P1-013	細谷 龍一郎	湘南医療大学薬学部 臨床薬剤学研究室	オピオイド間の併用による副作用リスクの網羅的評価:FAERSを用いた薬剤相互作用分析	●
	ポスター発表2 疼痛マネジメント	30P2-014	西田 未奈	社会福祉法人京都社会事業財団京都桂病院 薬剤科	血液透析施行中の急性骨髄性白血病患者における不穏を伴う難治性疼痛に対し調節型鎮静による管理を要した1例	●
		30P2-015	柚木 卓実	平田薬局	多発下肢潰瘍の慢性疼痛に対してフェンタニル貼付剤で疼痛コントロールを行い、最終的に完全脱離に至った一例	●
		30P2-016	藤田 昌紀	西宮市立中央病院 薬剤部	神経障害性疼痛に使用するカプサイジン軟膏の有効性と有害事象についての患者アンケート調査	●
		30P2-017	金沢 優	国立循環器病研究センター 薬剤部	くも膜下出血術後頭痛管理の現状と課題-非オピオイド鎮痛薬中心治療の限界を示唆する後方視的検討-	●
		30P2-018	茂原 圭佑	東京慈恵会医科大学西部医療センター	当院におけるがん化学療法に伴う末梢神経障害に対する薬物療法介入の強化に向けた使用状況調査	●
		30P2-019	小林 雅人	日本赤十字社医療センター 薬剤部	先行オピオイド併用下で導入されたメサドンの処方実態および安全性に関する後ろ向き調査	●
		30P2-020	宮崎 琴音	国立がん研究センター東病院 薬剤部	レセプト情報・特定健診等情報データベース (NDB) オープンデータに基づく外来院外処方における医療用麻薬使用量の実態調査 (2019-2023年度)	●
		30P2-021	吉田 ひかり	公立陶生病院 医療技術局 薬剤部/緩和ケアセンター	当院におけるメサドンへのオピオイドスイッチング方法の調査	●
		30P2-022	末吉 真樹	JA愛知厚生連 知多厚生病院 薬剤部/緩和ケアチーム	肺癌がん患者にQOLを考慮したフェンタニル貼付剤とPCAポンプを用いたオキシコドン注の併用にて、離島への自宅退院が可能となった1例	●
		30P2-023	海老根 香里	株式会社日立製作所ひたちなか総合病院 薬務局	嚥下困難時のがん疼痛緩和に対する介入の検討~オピオイドの投与経路変更の実態調査~	●
		30P2-024	川井 彩加	医療法人南労会 紀和病院 薬剤部/緩和ケアチーム	透析終了前後の疼痛悪化に対してオキシコドン注を持続皮下投与した一例	●
		30P2-025	山崎 史子	医療法人成和会ほうせんか病院 薬剤科	当院におけるオピオイド持続皮下注射 (以下CSI) のシリンジ交換ルーブル見直しに麻薬廃棄に与えた影響とメニュー変更の実態	●
		30P2-026	堀 有美子	大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部	自動車運転を希望する患者に対してオピオイドの使用方法を緩和ケアチームで検討したS状結腸癌の一症例	●
	30P2-027	加納 日南子	神奈川県立がんセンター 薬剤科	食道癌患者における放射線性食道炎に対するミロガバリンの効果に関する検討	●	
	30P2-028	今西 絢子	社会医療法人愛仁会 高槻病院	精神的不安を伴う疼痛コントロールに難渋する患者に、エチゾラムを併用することでレスキューの使用回数を減らすことができた1例	●	
	30P2-029	藤平 和花	医療法人鉄蕉会 亀田クリニック 薬剤室	自己免疫性疾患患者における慢性疼痛に対するオピオイド処方の実態調査	●	
	ポスター示説① 演題番号【奇数】 16:00-17:00	30P3-030	浅田 美咲	独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター 薬剤部	在宅から入院、そして再入院へ繋ぐ緩和医療の質向上:高用量オピオイド使用患者における実服用量把握の意義	●
		30P3-031	三塚 健司	仙台市立病院	医療用麻薬の自己管理運用に向けた当院での取り組み	●
		30P3-032	太崎 恵	医療法人創起会 くまもと森都総合病院	婦人科開腹手術におけるアセトアミノフェン定時投与が術後疼痛に与える影響	●
		30P3-033	秋山 真葵	日本赤十字社 愛知医療センター 名古屋第二病院 薬剤部	薬剤師介入がミロガバリンの適切な用量調節に与える影響	●
		30P3-034	荒神 一博	独立行政法人国立病院機構 岩国医療センター	乳がんの大転骨転移による疼痛に対しロキサミドが著効した1症例	●
		30P3-035	船津 妃杜美	聖隷浜松病院 薬剤部	末梢神経障害治療薬の増量の有無による有効性の違いに関する検討	●
		30P3-036	廣田 未彩	前橋赤十字病院 薬剤部	緩和ケアチームによるオピオイド適正使用ラウンド活動と課題	●
		30P3-037	清川 明慶	むつ総合病院 薬剤部 薬剤科	モルヒネ持続静注開始量が1日量20mgとなる場合の安全性・有効性に関する検討	●
		30P3-038	大音 三枝子	神戸市立医療センター中央市民病院 薬剤部	フェンタニル注出荷制限に伴う代替薬としてのプレソニルフィン注の使用状況とその有用性	●
		30P3-039	近藤 美咲	益田地域医療センター医師会病院	当院における持ち込み麻薬の実態調査	●
		30P3-040	井上 悠	八尾徳洲会総合病院 薬剤部	鎮痛薬の投与経路に難渋した食道胃接合部癌・頸部リンパ節転移の一症例	●
		30P3-041	高橋 典哉	岩手県立中部病院 薬剤科	緩和ケア病棟の終末期がん患者における死前時オピオイド使用量の検討	●
		30P3-042	丸山 昌広	明陽会 成田記念病院 薬局	緩和ケア病棟と一般病棟での注射用オピオイド開始時の投与方法の違いについて	●
	ポスター発表3 鎮痛薬の適正使用	30P4-043	平野 美菜	岩手県立久慈病院 薬剤科	当院における注射用オキシコドン導入時の投与量割合と疼痛アウトカムの後方視的検討	●
		30P4-044	倉股 大稀	深谷赤十字病院 薬剤部	当院緩和ケア病棟における医療用麻薬の使用状況およびオピオイドローテーションの実態調査	●
		30P4-045	伊藤 友梨	富山西総合病院 薬剤科/緩和ケアチーム	不完全な交差耐性を考慮したオピオイドスイッチングによりオピオイド投与量9割減と良好な痛みコントロールを得た1症例	●
		30P4-046	新井 聖子	新百合ヶ丘総合病院 薬剤科/緩和ケアチーム	タバンドールからメサドンへ変更後に疼痛増悪を認め、フェンタニル貼付剤で症状緩和を得た1例	●
		30P4-047	藤高 浩輝	公立学校共済組合 中国中央病院 薬剤部/緩和ケアチーム	終末期にメサドンからモルヒネ皮下注へオピオイドスイッチングした1例	●
		30P4-048	平尾 彩香	淡海医療センター 薬剤部	メサドン塩酸塩錠が内服困難となり、注射剤へオピオイドスイッチングを行った3症例	●
		30P4-049	岡本 満	独立行政法人国立病院機構 四国こどもととなの医療センター 薬剤部	フェンタニル貼付剤、ヒドロモルフォン徐放錠、オキシコドン徐放錠による鎮痛耐性の形成を疑い、塩酸モルヒネ水和物の持続皮下注射 (MHH-CSCI)へ変更し疼痛が改善した1例	●
	30P4-050	星田 唯史	日本赤十字社和歌山医療センター 薬剤部	オピオイドの部分スイッチングによりQOL/ADLの向上・維持に貢献した1例	●	
	ポスター示説② 演題番号【偶数】 17:00-18:00	30P5-051	田中 勇輔	帝京大学医学部附属病院 薬剤部	ナルデメジン服用後の下痢発現に関連する因子の検討	●
30P5-052		飯島 こころ	東京薬科大学 薬学部 医薬品安全管理学教室	ナルデメジン塩酸塩錠の投与開始時期がオピオイド誘発性便秘症に与える影響	●	
30P5-053		永野 万菜香	医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 薬剤部	福岡徳洲会病院におけるがん性疼痛に対するオピオイド開始時の下剤予防投与の実態調査	●	
30P5-054		真田 貴義	市立青梅総合医療センター 薬剤部	オキシコドン投与時に発現したと考えられるミオクローヌスに、クロナゼパムが有効であった一症例	●	
30P5-055		直良 知美	鳥取大学医学部附属病院	オキシコドン増量に伴う運動症状の変動を認めたパーキンソン病を有するがん患者の一症例	●	
30P5-056		佐藤 彩佳	東京慈恵会医科大学西部医療センター	悪性リンパ腫に伴う難治性疼痛に対し頻回のレスキュー使用を要した1例:ケミカルコーピングとの鑑別に苦慮した背景と経過についての検討	●	
30P5-057		金森 太郎	令和あらかわ病院 薬剤科	薬物乱用およびアルコール依存歴を有する終末期がん患者へ医療用麻薬を使用した一症例	●	
30P5-058		高橋 周平	済生会熊本病院 薬剤部	オピオイド誘発性神経毒性の対応に難渋した一例	●	
30P5-059		田中 祐介	自治医科大学附属さいたま医療センター 薬剤部	医薬品有害事象報告データベース (JADER)を用いた強オピオイドによる尿閉リスク評価と発現時期解析	●	
30P5-060		沼澤 恵子	社会医療法人ジャパンメディカルアライアンス 海老名総合病院 薬剤科	当院における弱オピオイド使用時の副作用対策の実態	●	
30P5-061		菊田 奨之	東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部	オピオイド誘発搔痒感に対してオピオイドスイッチが有効であった1症例	●	
30P5-062		志保 美月	国立病院機構横浜医療センター 薬剤部	メサドンとハロペリドールの併用によりQT延長を起こした一例	●	

■第19回日本緩和医療薬学会年会 一般演題リスト【ポスター発表】 ポスター会場:和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

日付	セッション名・示説時間	演題番号	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名	優秀賞エントリー		
5月30日 (土)	ポスター示説① 演題番号【奇数】 16:00-17:00	ポスター発表6 痛み以外の症状マネジメント	30P6-063	飯島 いづみ	さいたま市立病院 薬剤科/緩和ケアチーム	プロナンセリン経皮吸収型製剤の悪心嘔吐に対する使用状況調査	●	
			30P6-064	宮原 強	佐賀県医療センター好生館 薬剤部	がん患者のがん関連悪心に対するアセナピン舌下錠の効果の検討	●	
			30P6-065	坂上 進	信州大学 医学部 附属病院 薬剤部	病院フォーミュラに基づく薬剤師介入によりビンクリスチン誘発性便秘の症状緩和を認めた1例	●	
			30P6-066	石川 真帆	市立柏原病院 医療技術部 薬剤科	緩和ケア病棟に入院した肺癌患者に対して呼吸困難の緩和のため使用した医療用麻薬の検討	●	
			30P6-067	畠山 万理恵	地方独立行政法人 市立秋田総合病院 薬剤部/緩和ケアチーム	吸入薬のデバイス選択により終末期気管支喘息患者のQOL向上に貢献できた一例	●	
			30P6-068	岸本 真	霧島市立医師会医療センター 薬剤部/九州医療科学大学 大学院 臨床薬学第一講座	がん緩和ケアにおけるせん妄に対する薬剤師介入の特徴と文献の現状 - J STAGEおよびPubMedを用いたスコーピングレビュー -	●	
			30P6-069	飯田 早紀	名城大学 薬学部 薬学科	プラトレキサート投与時にクライオセラピーを実施した末梢性T細胞リンパ腫の2例	●	
			30P6-070	木村 昂起	独立行政法人 国立病院機構 四国がんセンター 薬剤部	非小細胞肺癌患者におけるアナモレリン投与時の栄養・炎症マーカー(PNIおよびmGPS)と全生存期間の関連について	●	
			30P6-071	杉野 歩美	東邦大学 医療センター 佐倉病院 薬剤部	アナモレリンの早期中止に関連する背景因子の検討	●	
			30P6-072	大池 貞治	社会医療法人シマダ嶋田病院 薬剤部	癌悪液質患者におけるアナモレリン塩酸塩の使用実態と有効性に関わる因子の検討	●	
			30P6-073	鈴木 祥	ウエルシア薬局 流山おおたかの森店	電子トレーシングレポートを活用し、アナモレリンの処方提案により食事量の改善がみられた1例	●	
			30P6-074	和泉 早智子	医療法人 東札幌病院 薬剤課	院内製剤メロニダゾール軟膏から後発品ゲル製剤への切り替え時の取り組みについて	●	
		30P6-075	伊藤 由佳	浜松医科大学医学部附属病院 薬剤部	薬剤師によるナッジを取り入れた患者指導とがん患者のスキンケア行動との関連:薬剤師主導ランダム化比較試験のプロトコルおよび活動報告	●		
		30P6-076	佐藤 公彦	国立病院機構 横浜医療センター 薬剤部	乳がん患者の妊孕性温存について薬剤師が関与した一例	●		
		30P6-077	天野 絵里花	盛岡友愛病院 薬剤科	終末期がん患者の難治性掻痒症にミルタザピンが奏功しQOL改善につながった一例	●		
		30P6-078	林 詩乃	地方独立行政法人 市立大津市民病院 薬剤部/消化器外科	ハロペリドールおよびミダゾラム併用により発症した薬剤性低体温症に対し薬剤師が介入した1例	●		
		30P6-079	富吉 博也	甘日市記念病院 診療支援部 臨床薬剤科	病状進行によりケミカルコーピングに陥った患者へ介入し、苦痛への包括的アセスメントの重要性を痛感した1例	●		
		ポスター示説② 演題番号【偶数】 17:00-18:00	ポスター発表7 がん治療と緩和ケア、 がん支持療法	30P7-080	立石 健史	富山県立中央病院 薬剤部	造血幹細胞移植患者に対するオピオイド使用状況調査	●
				30P7-081	松下 尚弘	医療法人展大会 鶴田クリニック	訪問診療において抗がん薬注射剤を用いた化学療法を施行した症例の後方視的実態調査	●
				30P7-082	鶴貝 芽衣子	一般財団法人神奈川県警友会けいゆう病院 薬剤部	レストレスレッグス症候群の原因としてオキサリプラチンの末梢神経障害が疑われた一例	●
				30P7-083	赤澤 麻衣子	京都大学 医学部附属病院 薬剤部/小児緩和ケアチーム	ジヌツキシマブによる顕著な疼痛にプレガバリンの追加が奏功した小児症例	●
				30P7-084	大津 真依	一般財団法人 神奈川県警友会 けいゆう病院 薬剤部/外科	オキサリプラチンの過敏反応として発熱のみを生じた一例	●
				30P7-085	宮里 明芽	東京医科大学病院 薬剤部/日本緩和医療薬学会研究推進委員会	がん疼痛患者におけるオピオイド鎮痛薬と免疫チェックポイント阻害薬との併用に関する多施設共同後方視的観察研究	●
				30P7-086	永田 圭耶	医療法人社団 杏順会 越川病院 薬剤部	免疫関連有害事象(irAE)治療歴を有する終末期がん患者のステロイド治療の実際:単施設後向き観察研究	●
				30P7-087	辻 茉莉香	横浜州市立市民病院	担がんロングサバイバーへの介入から考える疼痛管理の在り方	●
				30P7-088	石黒 太造	公益財団法人がん研究会有明病院	化学放射線療法実施に伴い、がん性疼痛に対する鎮痛薬の調整に対し薬剤師が積極的に介入した 1 例	●
				30P7-089	長戸 大空	社会医療法人大雄会 総合大雄会病院 薬剤科	治療抵抗性統合失調症患者におけるクロナジン併用下抗がん剤治療に対し、薬剤師介入により精神症状の安定を保ち治療完遂に至った一例	●
				30P7-090	武嶋 常	厚木市立病院 薬剤部門 薬剤科/緩和ケアチーム	タルタマブ(イムデトラ点滴静注用)初回投与後にIL-6上昇を伴うサイトカイン放出症候群(CRS)を発現し、原発部位における一過性の疼痛増強を認めた小細胞肺癌の一例	●
				30P7-091	村上 幸恵	新潟県厚生連上越総合病院 薬剤部	当院における薬剤師のがん患者に関わる業務負担の経過と介入実態調査	●
		30P7-092	宇野 健一	岩見沢市立総合病院	抗がん剤支持療法にて処方されたミロガバリンの中止時期の調査と終末期医療への影響の検討	●		
		30P7-093	上村 咲菜	聖隷浜松病院	悪性リンパ腫に対するビンクリスチン投与による便秘発症リスク因子の検討	●		
		30P7-094	八木 貴彦	浜松医療センター 薬剤科	アミバンタマブ+ラゼルチニブ治療中の疼痛・皮膚症状に対してePROにより早期介入した進行期肺癌の一例	●		
		30P7-095	成田 綾香	石川県立中央病院	Afatinibによる皮膚・粘膜障害管理のための多職種連携と支持療法・薬剤師介入の工夫ならびに症例報告	●		
		30P7-096	黒部 健太郎	佐賀県医療センター好生館 薬剤部	がん悪液質に対するアナモレリンの継続に関与する因子の検討	●		
		ポスター発表8 小児、心不全の緩和 ケア、ACP、苦痛緩和	30P8-097	小島 晴美	済生会横浜市東部病院 薬剤部	NICUにおける拘束性皮膚障害を有する乳児の疼痛管理に経口モルヒネを使用した1症例	●	
			30P8-098	日高 幸恵	西奈良中央病院 薬剤科	緩和病棟におけるミダゾラム持続注射使用開始から終了までの時間及び使用量調査	●	
			30P8-099	山下 大輔	市立長浜病院 薬剤局	心不全における呼吸困難に対するオピオイド導入マニュアルの構築と運用	●	
			30P8-100	宇波 奈央子	日本医科大学付属病院	心不全緩和ケアに用いられる薬剤の簡易懸濁法を含む経管投与への適応の可否に関する調査	●	
			30P8-101	秋山 幸子	医療法人社団 三喜会 鶴巻温泉病院 診療技術部 薬剤科	医療療養病棟入院中の終末期心不全患者の治療抵抗性呼吸困難に塩酸モルヒネ注射液を導入し、症状改善を得た一例~病棟薬剤師、緩和薬物療法認定薬剤師の協働~	●	
			30P8-102	竹平 理恵子	北里大学 薬学部 薬学教育研究センター 医療心理学部門	アドバンス・ケア・プランニングに対する薬剤師心理の質的研究	●	
			30P8-103	木下 宏美	株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 神戸永手町店	在宅ACP支援における薬局薬剤師の関わり~患者の生活の質を優先した緩和ケア薬学管理の1症例	●	
			30P8-104	大山 拓也	協和調剤薬局 本局	在宅終末期心不全患者におけるカテコラミン持続投与に薬局薬剤師が関与した一例	●	
		ポスター発表9 緩和ケア病棟・緩和ケ アチーム	30P9-105	松西 葵	岡山赤十字病院 薬剤部	当院緩和ケア病棟における抗精神病薬、新規睡眠薬およびトラゾドンの処方量の変化の調査	●	
			30P9-106	宮田 知世	刈谷豊田総合病院 薬剤部	医療麻薬の静注・皮下注併用オーダー運用についての実態調査	●	
			30P9-107	加茂 章弘	国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部	ハンセン病療養所に従事する看護師に対する緩和ケアの知識、実践、困難感に関する実態調査	●	
			30P9-108	松野 優紀	淀川キリスト教病院 薬剤部	緩和ケア外来診察時に同席する薬剤師の役割	●	
			30P9-109	臼井 崇	静岡済生会総合病院 薬剤部	医療用麻薬に抵抗を示す患者に対する緩和ケアチームの関わり	●	
			30P9-110	佐藤 美樹	埼玉医科大学国際医療センター 薬剤部	緩和ケアチームのデルマトーム評価が脊柱管内髄外造血の診断と治療に貢献した原発性骨髄線維症の一例	●	
			30P9-111	都司 恵里花	大阪府済生会茨木病院 薬剤科	当院の緩和チームにおけるSTAS-J導入による業務改善の検討	●	
			30P9-112	佐々木 歩美	JA秋田厚生連 平鹿総合病院 緩和ケアチーム	患者・家族の「家に帰りたい」を支える緩和ケアチームによる訪問診療の取り組み	●	
			30P9-113	佐々木 静香	独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院 薬剤部/緩和ケアチーム	がん患者と非がん患者における緩和ケアニーズの相違と薬剤師の役割	●	
			30P9-114	脇下 大樹	神戸掖済会病院 薬剤部	緩和ケアチーム発足による薬剤師介入の変化とその有用性	●	
			30P9-115	冲中 厚介	札幌南徳洲会病院 薬剤部	ホスピス病棟での多職種による薬剤自己管理支援体制の構築 一薬剤自己管理フローチャートを活用した症例報告一	●	
		ポスター発表10 病棟・外来薬剤業務	30P10-116	姫野 紘政	中頭病院 薬剤部	入院中の医療用麻薬自己管理マニュアルの改訂	●	
			30P10-117	山本 麻千子	みさと健和病院 薬剤課	オピオイド鎮痛薬切り替え時における Excel を用いた投与量自動計算システムの構築と院内普及	●	
			30P10-118	諫見 圭佑	国立病院機構鹿児島医療センター 薬剤部	ICANS発症後の抗腫瘍治療選択に対する薬剤師の意思決定支援	●	
			30P10-119	柘植 友考	名鉄病院 薬剤部	薬剤師診察前面談により強オピオイド導入が円滑に行えた外来がん患者の2症例	●	
			30P10-120	米山 萌	聖隷浜松病院 薬剤部	外来患者におけるがん疼痛薬剤師外来の有用性の検討	●	
			30P10-121	宮脇 未来	国立病院機構 高崎総合医療センター 薬剤部	外来がん治療患者への医師診察の前後での面談状況とトレーシングレポートの運用改善に向けた取り組み	●	
			30P10-122	藤井 佑紀	市立豊中病院 薬剤部	市立豊中病院における外来での医療用麻薬使用患者に対する取り組み	●	
			30P10-123	上田 綾佳	関西電力病院 薬剤部	がん薬物療法体制充実加算導入による薬剤提案の現状	●	
		30P10-124	北川 あさ美	東京西徳洲会病院 薬剤部	入院から退院後までシームレスな薬剤師の介入が治療継続と疼痛改善に繋がった一症例	●		

■第19回日本緩和医療薬学会年会 一般演題リスト【ポスター発表】 ポスター会場:和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

日付	セッション名・示説時間	演題番号	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名	優秀賞エントリー
5月30日 (土)	ポスター発表11 緩和ケアに関連する 薬剤業務	30P11-125	小林 沙夜子	医療法人社団武蔵野会 新座志木中央総合病院	入院患者の医療用麻薬の自己管理推進に向けた医療者の意識と課題—緩和医療における多職種調査—	●
		30P11-126	柳部 周平	株式会社ケアフェイン 在宅ケア薬局	輸液混注の安定性について	●
		30P11-127	太刀川 悠	東京女子医科大学附属足立医療センター	ブリアロイドデータ解析からみた鎮痛薬・緩和医療領域における薬剤師介入行動と経験・専門性	●
		30P11-128	日下部 鮎子	小樽市立病院 薬剤部／緩和ケアチーム	緩和ケア外来に薬剤師が同席するための取り組み	●
		30P11-129	米山 悠子	日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 薬剤部	医療用麻薬インシデントの重症化因子の特定とその対策	●
		30P11-130	成田 千津	社会医療法人社団三思会 東名厚木病院 薬剤部	医療用麻薬管理業務に関するタスクシフト及びRPAを活用した業務効率化への取り組み	●
		30P11-131	船越 康太	製鉄記念八幡病院 薬剤部	緩和ケア病棟における定期処方締切後の薬剤師代行入力業務の導入とそのニーズに関する検討	●
		30P11-132	水田 康裕	独立行政法人 国立病院機構 熊本医療センター 薬剤部	緩和ケアチーム介入におけるポリファーマシーの継続的調査	●
	30P11-133	関 なつ美	成田赤十字病院	オピオイド導入による併用薬剤数変化の実態に関する検討	●	
	ポスター発表12 地域連携	30P12-134	綿谷 純奈	市立奈良病院 薬剤室	Patient Controlled Analgesia(PCA)ポンプ投与で在宅移行後にせん妄を発症した一例	●
		30P12-135	廣瀬 達也	たなせ調剤薬局	腎機能情報共有ツールである腎臓シールによってリリカの過量投与を回避できた症例	●
		30P12-136	江川 朱季	東京慈恵会医科大学 葛飾医療センター 薬剤部	在宅医療への円滑な移行を目指した退院時薬剤情報提供の充実—在宅療養支援診療所との連携によるテンプレートの構築	●
		30P12-137	上島 聖秀	独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院 薬剤部	魚津市薬業連携の取組みと外来がん化学療法患者用トレーシングレポートの使用状況	●
		30P12-138	宇井 可奈枝	厚木市立病院 薬剤科	医療用麻薬の患者指導に関する薬業連携の課題(厚木薬剤師会会員薬局へのアンケート調査より)	●
		30P12-139	渡部 聡子	新潟市民病院 薬剤部	当院における医療用麻薬用トレーシングレポート作成に向けた課題	●
		30P12-140	向井 晴香	東京慈恵会医科大学葛飾医療センター	在宅療養支援診療所薬剤師の業務を見学し得られた知見と病院薬剤部への応用	●
	30P12-141	秋元 里菜	東京慈恵会医科大学西部医療センター	医療用麻薬専用トレーシングレポートを活用した薬業連携により、メサドンへの切替を安全に完遂し得た一症例	●	
	ポスター示説① 演題番号【奇数】 16:00-17:00	30P13-142	齋藤 亜利紗	札幌徳洲会病院 薬剤部	緩和ケア分野における病院薬剤師の知識と学習背景の実態調査	●
		30P13-143	波多江 沙織	平成紫川会 小倉記念病院 薬剤部	緩和ケアにおける薬剤師による看護師への教育に関するアンケート調査	●
		30P13-144	渡邊 美菜子	名古屋大学医学部附属病院 薬剤部	薬学生の病院実務実習におけるがん疼痛緩和ケア分野の学習効果に関する検討	●
		30P13-145	千葉 ゆうか	神戸薬科大学	高校生を対象としたカード学習教材を用いたがん教育の実施およびその教育効果の評価	●
		30P13-146	関本 明子	日本大学 医学部 附属 板橋病院 薬剤部	大麻事犯の現状と今後の課題	●
		30P13-147	相澤 康子	公益社団法人地域医療振興協会 横須賀市立市民病院 薬剤部	研修医を対象としたACP教育セミナーの内容と認識の変化 —緩和ケアに携わる薬剤師による実践報告—	
		30P13-148	茂木 孝裕	草加市立病院 薬剤部	「がん患者の代謝変化と栄養管理について、多職種の視点を交えてディスカッションするワークショップ(第18回日本緩和医療薬学会年会)」の成果報告	
		30P13-149	中込 梢	北里大学病院 薬剤部	緩和ケアにおける薬局薬剤師育成を目的とした短期実地研修の実施	
		30P13-150	星野 剛史	順天堂大学医学部附属静岡病院 薬剤科	緩和ケアにおける薬剤師の活動に対する新人薬剤師の意識調査	
		30P13-151	坪谷 綾子	昭和医科大学横浜市北部病院 薬剤部／昭和医科大学 薬学部 病院薬剤学講座	卒後教育における緩和ケア研修プログラムの実践	
		30P13-152	宮永 幸実	神奈川県済生会横浜若草病院	急性期病院と地域包括ケア病院での緩和薬物療法認定薬剤師の活動報告	
		30P13-153	阿部 健太郎	国立研究開発法人 国立がん研究センター東病院 薬剤部	国立がん研究センター東病院における緩和医療専門薬剤師の施設外研修報告:新制度の導入の実際と課題について	
	30P13-154	芝崎 由美子	さいたま市民医療センター 薬剤科／埼玉がん薬物療法研究会(SSOP)	がん教育における外部講師活用に対する障壁調査		
	ポスター発表13 緩和医療薬学教育	30P14-155	武道 涼平	北里大学病院 薬剤部／北里大学 薬学部	北里大学病院における医療用麻薬廃棄物の現状調査	
		30P14-156	高橋 愛未	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター 薬局	当センターにおけるジクロロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況調査	
		30P14-157	川添 哲嗣	武庫川女子大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター	医療用麻薬流通の問題点と解決策に関する、薬剤師・医師・卸業者への質的調査	
		30P14-158	小嶋 恭平	公益財団法人 山梨厚生会 山梨厚生病院 薬剤室	当院における医療用麻薬の処方動向	
		30P14-159	松岡 未紗	石川県済生会金沢病院 薬剤部	緩和ケア病棟における死亡前2週間の薬剤使用状況に関する実態調査	
		30P14-160	三浦 伸晃	山形大学医学部附属病院 薬剤部	フェンタニル注射液出荷制限に伴う薬剤選択の変化と医療費への影響	
		30P14-161	鈴木 貴洋	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院	当院における持参麻薬廃棄の実態調査と課題	
	ポスター示説② 演題番号【偶数】 17:00-18:00	30P14-155	武道 涼平	北里大学病院 薬剤部／北里大学 薬学部	北里大学病院における医療用麻薬廃棄物の現状調査	
		30P14-156	高橋 愛未	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター 薬局	当センターにおけるジクロロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況調査	
		30P14-157	川添 哲嗣	武庫川女子大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター	医療用麻薬流通の問題点と解決策に関する、薬剤師・医師・卸業者への質的調査	
		30P14-158	小嶋 恭平	公益財団法人 山梨厚生会 山梨厚生病院 薬剤室	当院における医療用麻薬の処方動向	
		30P14-159	松岡 未紗	石川県済生会金沢病院 薬剤部	緩和ケア病棟における死亡前2週間の薬剤使用状況に関する実態調査	
30P14-160		三浦 伸晃	山形大学医学部附属病院 薬剤部	フェンタニル注射液出荷制限に伴う薬剤選択の変化と医療費への影響		
30P14-161		鈴木 貴洋	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院	当院における持参麻薬廃棄の実態調査と課題		
30P14-161		鈴木 貴洋	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院	当院における持参麻薬廃棄の実態調査と課題		
ポスター発表14 医療経済、流通	30P14-155	武道 涼平	北里大学病院 薬剤部／北里大学 薬学部	北里大学病院における医療用麻薬廃棄物の現状調査		
	30P14-156	高橋 愛未	地方独立行政法人大阪府立病院機構大阪はびきの医療センター 薬局	当センターにおけるジクロロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況調査		
	30P14-157	川添 哲嗣	武庫川女子大学 薬学部 臨床薬学教育研究センター	医療用麻薬流通の問題点と解決策に関する、薬剤師・医師・卸業者への質的調査		
	30P14-158	小嶋 恭平	公益財団法人 山梨厚生会 山梨厚生病院 薬剤室	当院における医療用麻薬の処方動向		
	30P14-159	松岡 未紗	石川県済生会金沢病院 薬剤部	緩和ケア病棟における死亡前2週間の薬剤使用状況に関する実態調査		
	30P14-160	三浦 伸晃	山形大学医学部附属病院 薬剤部	フェンタニル注射液出荷制限に伴う薬剤選択の変化と医療費への影響		
	30P14-161	鈴木 貴洋	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院	当院における持参麻薬廃棄の実態調査と課題		
	30P14-161	鈴木 貴洋	医療法人徳洲会 仙台徳洲会病院	当院における持参麻薬廃棄の実態調査と課題		

■第19回日本緩和医療薬学会年会 一般演題リスト【ポスター発表】 ポスター会場:和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

日付	セッション名・示説時間	演題番号	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名	優秀賞エントリー
5月31日 (日)	ポスター発表15 疼痛マネジメント	31P15-162	柴田 富美子	株式会社アインファーマシーズ アイン薬局 川口店	外来がん化学療法患者の疼痛コントロールへの薬局薬剤師の介入が患者のQOL向上に功を奏した一症例	
		31P15-163	加藤 あゆみ	日本医科大学付属病院薬剤部	慢性腸管GVHDに伴う神経障害性疼痛に対し緩和ケアチームが介入した一例	
		31P15-164	澁谷 恵美子	IHI播磨病院 薬剤科	ジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用実態調査	
		31P15-165	坂井 隆太	国家公務員共済組合連合会 呉共済病院 薬剤科/緩和ケアチーム	大腸全摘後の下痢による肛門潰瘍に対する疼痛に対するのマネジメントに難渋した一例	
		31P15-166	畝本 由貴	JA広島厚生連 尾道総合病院 薬剤科/緩和ケアチーム	メサドン内服中に増悪した体動時突出痛の再評価により前皮神経絞扼症候群と診断された一例	
		31P15-167	菅 詩歩	地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪急性期・総合医療センター	がん性疼痛に対するジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用実態調査	
		31P15-168	今牧 健一郎	埼玉県 済生会 川口総合病院	当院におけるジクトルテープの使用実態調査	
		31P15-169	蓮井 萌	高松赤十字病院 薬剤部	がん疼痛に対するジクロフェナクナトリウム経皮吸収型製剤の使用状況調査	
		31P15-170	横田 有希	福島赤十字病院	ケタミン注からメサドン錠へ切り替えて、在宅移行が可能となった一症例	
	31P15-171	重元 萌子	東京通信病院 薬剤部	頸部リンパ節転移を伴う舌癌でコントロール不良の疼痛に対してケタミン注を使用した症例		
	ポスター発表16 オピオイド鎮痛薬	31P16-172	森 祥史	国立病院機構 大阪南医療センター 薬剤部	外来通院下で高用量オキシコドンからメサドン併用での疼痛コントロールへ移行した一例	
		31P16-173	梅村 弘毅	重工記念長崎病院 薬剤部	疼痛コントロール不良により在宅復帰に難渋した乳がん術後再発患者に介入した経験	
		31P16-174	近藤 祐也	長岡赤十字病院 薬剤部	長岡赤十字病院におけるメサベイン使用実態について	
		31P16-176	草信 晴美	川崎医科大学高齢者医療センター	医療用麻薬の使用に不慣れた高齢者医療に特化した病院で、薬剤師の介入により自宅退院することができた1例	
		31P16-177	宮城 明美	聖隷三方原病院 薬剤部	メサドンから他オピオイドへの切り替えにおける換算比率の検討	
		31P16-178	岩下 航平	国際医療福祉大学成田病院 薬剤部	フェンタニル注供給低下時における疼痛管理の工夫 ―当院で経験した2症例の報告―	
		31P16-179	萩原 里美	くまもと県北病院 薬剤部	当院におけるヒドロモルフォン徐放錠の使用状況	
		31P16-180	山田 桃佳	社会福祉法人恩賜財団済生会支部 茨城県済生会 龍ヶ崎済生会病院 薬剤部	フェンタニル舌下錠用量調節期の対応について	
		31P16-181	伊藤 優花	社会医療法人 明陽会 成田記念病院	オピオイド皮下注射の速度変更により疼痛コントロールが改善した症例	
		31P16-182	鈴木 利規	豊橋市民病院	当院におけるメサドン塩酸塩の使用状況に関する調査	
		31P16-183	有富 航平	地方独立行政法人大牟田市立病院 薬剤部	オピオイド使用歴のない肝機能低下患者への添付文書量のヒドロモルフォン注開始により傾眠や呂律困難を認め、減量により改善が見られた症例	
		31P16-184	佐藤 麻理	戸田中央総合病院	高用量ヒドロモルフォン内服から持続皮下注への変更で用量適正化を経験した一例	
		31P16-185	宇野 恵梨子	高知赤十字病院 薬剤部/緩和ケアチーム	当院のメサドン使用実態調査と今後の課題	
		31P16-186	平川 寛之	東北医科薬科大学病院 薬剤部	当院の販売中止までのタベンタールのスイッチングの調査	
	31P16-187	木村 尚統	なの花東日本 なの花薬局さつき店	ベースオピオイドの導入提案とフォローアップにより疼痛コントロールに寄与した一例		
	31P16-188	天間 歩	岩見沢市立総合病院 薬剤部	精神疾患を有し疼痛評価が困難な乳がん患者に対し、薬学的介入により周術期にオピオイド中止が可能であった一症例		
	31P16-189	畑 加奈子	一般地方独立行政法人 くまもと県北病院 薬剤部	腎機能低下患者に対する当院でのモルヒネ注射の使用状況		
	31P16-190	山田 晶子	医療法人徳洲会 千葉西総合病院	新薬ヒドロモルフォンの客観的評価の試み		
	31P16-191	田村 有美	社会福祉法人京都社会事業財団 京都桂病院 緩和ケアチーム/薬剤科	アヘン系オピオイドアレルギーを有する患者がフェンタニル注と貼付剤を組み合わせる難治性疼痛管理を行った一症例		
	31P16-192	西山 由紀子	国立病院機構 金沢医療センター	腎不全患者に対する緩和ケア診療の実態調査		
	ポスター発表17 オピオイドスイッチング、タイトレーション	31P17-193	林 克剛	宮城県立がんセンター	呼吸抑制を伴う高用量モルヒネ使用患者に対して、薬剤師介入により適切に減量できた1例	
		31P17-194	大城 美希	社会医療法人大阪国際メディカル&サイエンスセンター 大阪けいさつ病院	神経障害性疼痛を有するがん患者におけるオピオイドスイッチング後の疼痛コントロールの検討	
		31P17-195	山崎 智世	東京都立病院機構 東京都立豊島病院 薬剤科	終末期にメサドンとヒドロモルフォンからモルヒネ塩酸塩注射液に切り替えた1症例	
		31P17-196	増山 翠	地方独立行政法人 新小山市市民病院	当院におけるオピオイドスイッチングの実態調査	
		31P17-197	田中 志遠	小牧市民病院	トラマドールから強オピオイドへの切り替えにおける換算比の検討―がん性疼痛患者を対象とした後ろ向き観察研究―	
		31P17-198	石野 愛弓	耳原総合病院	メサドン舌下投与にて疼痛コントロールを行った一例	
		31P17-199	池上 孝明	国家公務員共済組合連合会 熊本中央病院 薬剤科	薬剤師の介入により、フェンタニルクエン酸塩貼付剤からのオピオイドスイッチングによって疼痛軽減が得られた1例	
		31P17-200	山岡 美聖	藤田医科大学病院 薬剤部	高用量オピオイドスイッチングを複数回実施し疼痛コントロールに難渋した一例	
		31P17-201	平山 大樹	済生会宇都宮病院	メサドン上乘せ(add-on)により先行オピオイドを減量し得た一例	
		31P17-202	杉田 昌子	社会医療法人同心会 古賀総合病院 薬剤部	当院におけるトラマドール・アセトアミノフェン配合錠から強オピオイドへの換算量に関する後方視的検討	
		31P17-203	船水 祐里	盛岡市立病院 薬剤部	オピオイドスイッチングにおける投与量と介入職種についての後方視的調査	
	31P17-204	山岡 沙織	吉川中央総合病院 薬剤科	当院緩和ケア棟におけるメサドンの使用実績 ―多職種連携及び薬剤師の介入による安全性と経済性の評価―		
	31P17-205	武富 海志	社会医療法人友愛会 友愛医療センター 薬剤科	喫煙状況の変化がオキシコドンの用量調整に影響した一例		
	31P17-206	中丸 和則	仁天堂薬局 戸塚町店	モルヒネ塩酸塩の持続皮下投与による硬結に対しヒドロモルフォン塩酸塩への変更が有効であった一例		
	ポスター発表18 鎮痛薬の副作用	31P18-207	畠山 智明	KKR札幌医療センター	オキシコドン導入時における併用薬剤の総抗コリン薬負荷スコアがおよぼす便秘とせん妄への影響	
31P18-208		川田 彩季	防衛医科大学校病院	がん性疼痛患者におけるナルデメジン開始タイミングと排便回数の変化		
31P18-209		沼田 奈央子	春日井市民病院 薬剤局薬剤科	オピオイド鎮痛薬使用時の副作用対策として選択される便秘薬に関する使用状況調査		
31P18-210		藤原 真亜子	川崎医科大学総合医療センター 薬剤部	ナルデメジンの使用実態調査		
31P18-211		尾形 美絵	大分県済生会日田病院 薬剤部	トラマドールからヒドロモルフォン製剤へ変更したがん患者の中核抑制への影響の調査報告		
31P18-212		小池 慶彦	東邦大学 医療センター 大橋病院 薬剤部/緩和ケアチーム	がん患者におけるミロガリン及びプレガバリン投与時の眠気及不眠因子に関する研究		
31P18-213		東江 海都	沖縄協同病院	ケミカルコーピングに対し代替薬と精神的ケアでオピオイド鎮痛薬の不適切使用を改善することができた症例		
31P18-214		熊井 正貴	北海道大学病院 薬剤部/緩和ケアチーム	キャンサーフリー後の慢性疼痛治療からオピオイド依存となり重複受診を来した一症例		
31P18-215		石嶋 麗	国立病院機構 東京医療センター 薬剤部	オピオイド誘発性神経障害(OIN)によりオピオイド用量調節に苦渋した一例		
31P18-216		林田 悠佳	国立病院機構東京医療センター 薬剤部	オピオイド誘発性痛覚過敏を疑い、オピオイドスイッチングにより疼痛緩和が得られた一症例		
31P18-217	南里 本	佐賀県医療センター好生館 薬剤部	疼痛コントロールにおいてアセトアミノフェン錠が原因で全身性皮疹を生じた症例			

■第19回日本緩和医療薬学会年会 一般演題リスト【ポスター発表】 ポスター会場:和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

日付	セッション名・示説時間	演題番号	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名	優秀賞エントリー	
5月31日 (日)	ポスター発表19 痛み以外の症状マネジメント	31P19-218	浦川 聖菜	順天堂大学医学部附属浦安病院	投与経路選択に難渋した膀胱癌患者の悪心に対するデキサメタゾン皮下投与例		
		31P19-219	上之園 咲	国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部/緩和ケアチーム	小脳転移に伴う悪心嘔吐に対しヒドロキシジン注で症状緩和を図った一症例		
		31P19-220	横山 あずさ	昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院 薬局	非がん患者の呼吸困難に対するモルヒネ塩酸塩注使用の実態調査		
		31P19-221	柳下 昂太	順天堂大学医学部附属静岡病院 薬剤科	非癌性難治性疼痛に対するケタミン使用により症状改善を認めた一例		
		31P19-222	藤田 淳志	山口県済生会下関総合病院 薬剤部	サージカル手袋圧迫療法下でのアルブミン懸濁型パクリタキセルによる化学療法誘発性末梢神経障害の発現時期及び重症度の評価		
		31P19-223	宮沢 祐太	東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部	他院で継続処方されていたベンゾジアゼピン(BZ)系薬剤を入院中に減量・中止し、重症筋無力症(MG)の急性増悪を回避した1症例		
		31P19-224	山岸 由佳	小牧市民病院 薬局	せん妄を有するがん患者に対するプレクスピラゾール(レキサルティ)の有効性・安全性		
		31P19-225	上西 真理子	飯塚病院 薬剤部	易怒性に対し抑肝散・クエチアピン・オピオイド鎮痛薬の調整で対応した一例		
		31P19-226	三浦 篤史	JA長野厚生連 佐久総合病院 薬剤部	せん妄に対するアセナピンの使用に関する文献調査		
		31P19-227	草野 由記美	鳥取赤十字病院 薬剤部	当院における高用量骨吸収抑制薬(ARA)導入時の事前歯科紹介実施状況調査		
		31P19-228	後藤 義之	石川県済生会金沢病院	緩和ケア病棟入院患者における錠剤嚥下困難の把握 -PILL-5を用いた薬剤師初回面談の検討-		
		31P19-229	堀 敦雄	長浜赤十字病院 薬剤部	化学療法による有害事象と自己対策		
		31P19-230	市川 有未	医療法人天和会 松田病院 診療支援部 薬剤科	アナモレリン開始後の高血糖に対して持効型インスリンイコデクにFGMを併用し投与を継続し得た一例		
		31P19-231	宮部 貴識	国立病院機構大阪刀根山医療センター	肺がん患者でのアナモレリン導入時PNIと投与継続性および導入後生存期間の検討		
		31P19-232	大槻 明日香	旭川赤十字病院 薬剤部	アナモレリン早期導入後、食欲不振改善と体重増加となった1例		
		31P19-233	加美山 遼	AMG船橋総合病院 薬剤科/PCT	頭部癌患者の食欲不振に対して血糖管理を行いながらアナモレリンを導入した結果食事摂取量の改善が得られ自宅退院に繋がった症例		
		31P19-234	鈴木 悠里	公益財団法人ときわ会 常磐病院 薬剤部	腎機能低下を伴うエンホルツマブ ベドチンおよびベムプロリズマブ投与中の掻痒感に対し、薬剤師介入による支持療法が奏功した一例		
		31P19-235	菅田 佳子	医療法人明和会 大分ゆふみ病院 薬剤部	独立型ホスピスでの褥瘡軟膏に関する意識調査および院内使用方針策定		
		31P19-236	森 あさひ	神戸大学 医学部 附属病院 薬剤部	がん患者における非ステロイド性抗炎症薬使用が悪性腹水に及ぼす影響		
		31P19-237	山本 貴一	医療法人徳洲会 福岡徳洲会病院 薬剤部	抗精神病薬投与下の高齢認知症患者が術後に呈した急性ジストニアに対し薬剤師介入が有用であった一例		
		31P19-238	宮武 望	和泉市立総合医療センター 看護部	当院緩和ケア病棟における終末期がん患者の治療抵抗性の苦痛に対する持続的鎮静の施行状況調査～適正な鎮静を目指して～		
		ポスター発表20 終末期ケア、苦痛緩和	31P20-239	金本 卓	独立行政法人 国立病院機構 小倉医療センター 薬剤部/緩和ケアチーム	一般病棟における終末期がん患者の鎮静の施行状況に関する後方視的カルテ調査	
			31P20-240	森島 恵理佳	国立病院機構 別府医療センター 薬剤部/緩和ケアチーム	終末期がん患者における持続的深い鎮静時のミダゾラム投与量と関連因子-探索的実態調査-	
	31P20-241		飯田 亜希	クオール株式会社	在宅緩和ケアにおけるPCA導入患者のオピオイド用量変更時期と背景因子の後方視的調査		
	31P20-242		田島 由依	社会医療法人 名古屋記念財団 新生会第一病院	肺がんを伴う透析患者に対し、ヒドロモルフォン塩酸塩徐放錠を用いて呼吸困難の緩和を図った1例		
	31P20-243		細川 菜	八潮中央総合病院 薬剤部	ミダゾラムによる苦痛緩和の為に鎮静に難渋し、デクスメドミジンを使用した一例		
	31P20-244		杉山 奈津子	同愛記念病院 薬剤科	当院における終末期持続鎮静に対するミダゾラムの使用状況と課題の後方視的検討		
	ポスター示説③ 演題番号【奇数】 10:45-11:45	31P20-245	藤森 可純	浜松医療センター	非がん患者の苦痛緩和に対する強オピオイドの効果について検討		
		31P20-246	小林 雅子	市立敦賀病院 薬剤部	一般病棟におけるがん患者の予後予測指標の妥当性と予測乖離因子の検討		
		31P21-247	松波 寿雄	金沢赤十字病院 薬剤部	高度腎機能障害のある末期心不全患者の呼吸困難に対するモルヒネの使用経験～塩酸モルヒネ注を低用量(2.5mg/日)から開始した症例について検証する～		
		31P21-248	山野邊 裕子	川口市立医療センター 薬学部	心不全患者の終末期におけるオピオイド使用実態調査と課題の検討		
		31P21-249	加藤 彩乃	日本調剤株式会社 三鷹南口薬局	終末期心不全患者へのカテコラミン持続投与とオピオイド持続投与を同時に行った一例		
	ポスター示説④ 演題番号【偶数】 14:00-15:00	31P21-250	西村 脩作	株式会社エルマノ すばる中央薬局大船店	ショック状態となった重症心不全患者が在宅看取りに至った一例		
		31P21-251	江田 未来	新小文字病院 薬剤科	心不全チームとの連携体制構築と呼吸困難に対するモルヒネ使用マニュアルの作成		
		31P22-252	梅原 聡子	大阪母子医療センター 薬局	消化管GVHDに対して塩酸モルヒネ注を投与していたが症状改善に伴い減量中止したことにより退薬症状が出た一例		
		31P22-253	須田 奈美	東京慈恵会医科大学附属病院 薬剤部	気管支軟化症を伴う18トリソミー症候群の患児の呼吸苦の緩和に介入した1症例		
	ポスター発表22 小児・若年者、家族ケア、ACP	31P22-254	小寺 菜月	国家公務員共済組合連合会 北陸病院	ACPを通してオピオイドスイッチに介入した一症例		
		31P22-255	高橋 未来	越谷市立病院 薬剤科	病棟薬剤師がACPIに関わる利点と問題点		
		31P22-256	竹原 幹太	日本調剤株式会社 ユーカリ薬局	在宅緩和ケアにおいてモルヒネ持続皮下鎮痛管理下で患者ACPIにより別皮下ルートを用い鎮静を導入した一例		
		31P22-257	渡邊 崇	大賀薬局 粕屋別府店	家族ケアの視点を持つ薬剤師が多職種と連携して患者の身体の症状緩和および在宅での支援を行った一例		
	ポスター発表23 緩和ケア病棟・緩和ケアチーム	31P23-258	横山 敦	国家公務員共済組合連合会 横浜南共済病院 薬剤科	緩和ケアチームによるオピオイド使用患者への支援内容の可視化		
		31P23-259	百瀬 智恵	社会医療法人財団仁医会牧田総合病院	中小病院における緩和ケアチームの取り組みと活動実績		
		31P23-260	真田 栄輝	JA愛知厚生連 豊田厚生病院 薬剤部	緩和ケア病棟を併設する急性期病院における終末期がん患者に対する持続鎮静の施行状況に関する調査		
		31P23-261	澤井 健太	国家公務員共済組合連合会舞鶴共済病院 薬剤科/緩和ケアチーム	緩和ケア専門医不在の当院における緩和ケアチーム主導の終末期患者鎮静前カンファレンスの運用実態調査		
		31P23-262	黒木 あかね	東京都立病院機構 東京都立豊島病院 薬剤科	豊島病院における緩和ケア病棟薬剤師の活躍		
		31P23-263	金井 彩音	豊田厚生病院 薬剤部	緩和ケア病棟における薬剤師の薬剤管理指導業務の実態調査		
		31P23-264	宮崎 佑介	君津中央病院	専門医不在になった後の緩和ケアチーム活動		
		31P23-265	鳥越 真衣	福岡大学病院 薬剤部	オピオイド回診の有用性についての検討		
		31P23-266	筑田 理絵	国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院 薬剤科	緩和ケアチーム薬剤師主導のPCAポンプ関連マニュアル整備による緩和医療継続効果		
		31P23-267	中尾 夕美	市立伊丹病院 薬剤部	緩和薬物療法認定薬剤師による非がん患者支援拡大とチーム活動への影響		
	ポスター発表24 チーム医療・多職種連携	31P24-268	大谷 崇仁	益田赤十字病院 薬剤部	骨転移による難治性疼痛に対し、ケミカルコーピングを考慮した多職種連携により自宅退院が可能となった一例		
		31P24-269	加藤 悠	クラフト株式会社 さくら薬局 壬生店	ケミカルコーピングを伴う終末期がん疼痛管理に多職種で挑んだ一例		
		31P24-270	小牧 佐知子	川西市立総合医療センター 薬剤科	多職種介入によりセルベルカチニブ服用を再開できた1症例		
		31P24-271	小林 義典	富士宮市立病院 薬剤部	疼痛コントロール難渋患者に対する緩和ケアチーム介入依頼を受け薬剤調整により自宅退院を実現した1症例		
		31P24-272	越智 啓介	愛媛県立中央病院 薬剤部	がん性疼痛緩和指導管理料の算定状況と電子カルテ用テンプレートの使用状況報告		
		31P24-273	森田 奈々	浜松医療センター	緩和ケアチーム薬剤師と外来担当薬剤師の連携から早期に疼痛緩和が得られたオピオイド使用中の外来がん患者の1症例		
		31P24-274	坂田 光平	特定医療法人萬生会熊本第一病院	薬剤師の介入により高用量オピオイド投与中の患者の症状コントロールをはかり、入院支援を行った1例		
		31P24-275	水谷 めぐみ	日本調剤株式会社 尾山台南口薬局	在宅緩和ケアにおける訪問看護師のデバイスに対する不安解消に向けた薬剤師の介入と評価		
		31P24-276	玉井 宏一	愛媛県立中央病院 薬剤部	フェンタニル注射液の限定出荷に対する薬剤部の取り組み		
		31P24-277	吉田 さくら	クオール薬局 つくば桐の葉モール店	未経験薬局で初めて対応したPCAポンプ麻薬持続投与症例における多職種連携と薬剤師の積極的関与		

■第19回日本緩和医療薬学会年会 一般演題リスト【ポスター発表】 ポスター会場:和歌山県立医科大学 薬学部 5階アリーナ

日付	セッション名・示説時間	演題番号	筆頭演者氏名	筆頭演者所属機関名	演題名	優秀賞エントリー	
5月31日 (日)	ポスター発表25 医療安全、医薬品安全管理	31P25-278	小川 実華	独立行政法人労働者健康安全機構 東京労災病院 薬剤部	麻薬注射の指示標準化に向けた初回オナータイムの実態調査		
		31P25-279	芳賀 若菜	静岡済生会総合病院 薬剤部	当院で発生した誤調剤による麻薬事故とその後の対策		
		31P25-280	藤田 康介	社会医療法人博愛会 菅間記念病院 薬剤科/緩和ケア委員会	中小病院における入院患者の医療用麻薬自己管理導入に向けた薬剤師主導の教育と意識調査		
		31P25-281	笹木 洋	森下病院 薬局	当院で起こった医療用麻薬事故について		
		31P25-282	宮崎 早苗	健和会 大手町病院 薬剤部/緩和ケアチーム	がん患者の疼痛・呼吸困難に対する麻薬持続注射マルチセットの有用性に関する検討		
		31P25-283	渡辺 彩里華	地方独立行政法人 知多半島総合医療機構 知多半島総合医療センター 薬剤科	当院における医療用麻薬関連インシデントの発生状況調査		
	ポスター発表26 その他の薬剤業務	31P26-284	森本 明美	社会医療法人きつこう会 多根総合病院 薬剤部	口腔内悪臭に対するメトロニダゾール粉末懸濁液(院内製剤)の有用性と薬剤師の臨床的役割		
		31P26-285	小林 裕平	済生会横浜市東部病院 薬剤部	麻薬管理システム導入による業務効率化の評価		
		31P26-286	森川 沙樹	熊本地域医療センター 薬剤部	がん終末期患者の減薬について考える-薬剤部へのアンケートを中心に-		
		31P26-287	斉藤 智人	藤薬局	小規模薬局におけるPCA処方設計の取り組み	●	
		31P26-288	梅野 美智瑠	株式会社スギ薬局 阪神調剤薬局 草津矢橋店	外来でのメサドン治療に対して薬局薬剤師によるオンラインフォローアップツールでの副作用モニタリングを実施した一例		
		31P26-289	山下 悠作	(株)アインファーマシーズ アイン薬局 富田林病院店	薬局薬剤師のがん性疼痛管理に関する項目に対する重要性認識と実施状況	●	
		31P26-290	河野 渉	JA徳島厚生連 吉野川医療センター 薬剤部	患者・家族および医療従事者の安全を守るための曝露対策:環境モニタリングに基づく調製・清掃手順の最適化		
		31P26-291	大澤 歩実	(株)オール・プラン社 もみじ薬局	在宅がん患者の医療用麻薬注射剤導入における薬局機能と課題~無菌調剤可能薬局に集中した5年間・432名の事例~	●	
	31P26-292	杉浦 聡	おかやま薬局 上道店	複数医療機関受診の外来がん患者の疼痛管理に対し、フォローアップにより薬学的介入を行った1症例			
	ポスター示説③ 演題番号【奇数】 10:45-11:45	ポスター発表27 在宅緩和ケア	31P27-293	茨木 貴子	あんず薬局	在宅緩和ケアにおける高用量オピオイドの安定供給に多職種連携が寄与した症例	●
			31P27-294	吉田 勝好	益田赤十字病院 薬剤部	当院のPCA付きシリンジポンプを用いた在宅におけるスイッチングの1例	
			31P27-295	谷江 良崇	株式会社スギ薬局 在宅調剤センター安城店	在宅がん患者における薬局薬剤師の訪問指導回数増加要因の分析	●
			31P27-296	山田 行徳	すずらん薬局 舟入店	セロトニン遮断再取り込み阻害薬使用患者でオピオイド増量時にセロトニン症候群が疑われた一例	
			31P27-297	近藤 有	JA愛知厚生連 豊田厚生病院 薬剤部	医療用麻薬注射剤を使用する患者の在宅移行における緩和ケアチーム薬剤師の貢献	●
			31P27-298	能登 啓介	サン薬局平群店	在宅サポート店舗として終末期がん患者の円滑な在宅移行支援が奏功した事例	
			31P27-299	鍋木 美穂子	日本調剤尾山台南口薬局	在宅緩和ケアにおけるCADD-Legacy使用時の操作・設定ミスに起因するトラブル事例の分析	●
			31P27-300	五條 元量	大賀薬局 福岡早良在宅調剤センター	在宅緩和ケアにおいて訪問看護師との連携でせん妄を改善し家族の介護負担を軽減した肺がん患者の一例	
			31P27-301	覺知 哲美	日本調剤株式会社 尾山台南口薬局	在宅緩和ケアを支える薬局薬剤師の24時間対応一時間外コールの実態と負担の検討一	●
			31P27-302	中西 順子	三豊総合病院 薬剤部/緩和ケアチーム	地域介護施設における医療用麻薬使用がん患者への対応に関する探索的調査	
			31P27-303	西依 恭平	薬局セントラルファーマシー長嶺	在宅移行時のオピオイド注射薬処方再設計における薬剤師の専門的役割	●
			31P27-304	金子 恵子	アイン薬局 すみさか店	在宅緩和ケアにおける薬剤師主導のオピオイドスイッチングが患者の希望実現とQOL向上に貢献した一症例	
			31P27-305	宮澤 正幸	藤沢市民病院 薬局/一般社団法人地域ケアネット ほっとかんわ湘南	終末期在宅医療における多施設・多職種で構成する地域緩和ケアチームの法人化活動	●
			31P27-306	大森 聖之	クラフト株式会社 さくら薬局御茶ノ水駅前店	多職種と連携することで、患者と患者家族の希望に沿った在宅看取りができた一症例	
	31P27-307	田川 有希	有限会社アド調剤薬局 桔梗堂薬局	せいぶ緩和ケアやくやくミーティング(鳥取県西部医療圏)の立ち上げ、初年度の活動及び今後の活動について	●		
	31P27-309	橋場 剛	リジョン薬局 厚別	麻薬服用拒否のある患者に対して訪問薬剤師による介入がうまくいった一症例			
	31P27-310	松本 優太	クオール株式会社 クオール薬局取手店	在宅緩和ケアに関わる薬剤師の知識自信度と学習ニーズに関する横断的調査			
31P27-311	金子 睦志	JA新潟厚生連 長岡中央総合病院 薬剤部/一般社団法人 長岡市薬剤師会	在宅緩和ケアにおける保険薬局の無菌調剤対応推進活動一長岡市薬剤師会の取り組み一				
ポスター発表28 地域連携	31P28-312	佐藤 翼	株式会社ナカジマ薬局	地域緩和ケアネットワーク研修により得られた院内運用の理解と共通指標の活用~痛み日記とテレフォン服薬サポートにより処方提案に至った一例~			
	31P28-313	水津 菫香	健和会 大手町病院 薬剤部	病院薬剤師による薬薬連携強化への取り組み ~がん薬物療法勉強会を通じた薬局薬剤師の副作用対応および受診勧奨に対する意識変容~			
	31P28-314	林 美香	一般社団法人 海津市医師会病院 薬剤室	地域医療リンケージによる連携を通じて症状緩和に取り組んだ肝門部胆管がん終末期の1症例			
	31P28-315	鳥山 陽子	国立病院機構 鹿児島医療センター 薬剤部	地域薬局と病院薬剤師が連携し、ACPの観点から治療継続を支えた外来化学療法の一例			
	31P28-316	鈴木 訓史	国立病院機構 仙台医療センター 薬剤部	オピオイド専用トレーニングレポート導入による薬薬連携から早期の疼痛緩和が得られた一症例			
	31P28-317	永村 洋子	マエノ薬局 西が丘店	多職種連携の退院時共同指導により終末期がん患者の在宅移行がスムーズに行えた一例			
	31P28-318	松本 光司	クリエイト薬局 旭二俣川店/旭区薬剤師会	横浜市旭区・瀬谷区薬薬連携研修会での有害事象(ご瘡様皮疹・手足症候群)の評価に関する理解度調査			
	31P28-319	新井 大地	岐阜県立多治見病院 薬剤部	疼痛用トレーニングレポートの運用と現状報告			
	31P28-320	梅野 智美	(株)たかだ調剤薬局	当薬局における麻薬処方箋応需の実態調査と課題			